

Sing for Smile



第一興商 証券コード:7458

ステークホルダーの皆様へ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期におきましては、2019年末より続いております新型コロナウイルス感染拡大の影響により、8月には新規陽性者数が最大となり、東京都では6か月のうち138日間は緊急事態宣言下に置かれるなど、期中を通じて当社と当社のお客様の店舗にとって非常に厳しい環境での運営を余儀なくされました。

当社グループにおきましても、通信カラオケDAMの稼働台数は一時的な減少分も含め前々期末比で15%以上減少し、ビッグエコーをはじめとする当社グループ直営店舗も長期間の休業という厳しい状況が当第2四半期末まで継続いたしました。

このような状況を受け、当社では前期に引き続き「出を抑え、入りを増やす」という方針のもと、店舗事業におけるデリバリー事業や新規事業として推進するパーキング事業「ザ・パーク」の拡充を進めたほか、固定費の低減に努めるなど、コロナ影響下において今できることを徹底してまいりました。

その一方で、コロナ禍が収束に向かう回復局面に備え、当社の中核であるカラオケの楽しさを最大化するための準備も進めております。業務用カラオケの営業部門においては既存顧客との関係性強化に努めるとともに、4月にナイト市場向け新商品「Cyber DAM + (サイバードラムプラス)」を発売し商品ラインアップを強化したほか、映像コンテンツをさらに充実させることでカラオケDAMの商品力強化に努めました。店舗においてはグループ共通の感染防止対策を徹底し、最新設備の導入を進めることにより、お客様により楽しく、気持ちよく、安心して取っていただける環境の整備に努めました。

当社は、これからもカラオケのリーディングカンパニーとして、“もっと音楽を世に もっとサービスを世に”の社是のもと、より一層カラオケの魅力を高めることによりカラオケ産業全体の発展や社会課題の解決に寄与し、当社グループとしても成長を続けてまいります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 保志 忠郊

第一興商グループのCSR

ホームページに
サステナビリティストーリーを公開

CSR活動に関する取り組みを紹介するページを公開しています。ホームページ内では、第一興商グループのESG(環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance))に対する取り組みを紹介しています。

詳細はホームページにて
ご覧ください。

<https://www.dkkaraoke.co.jp/csr/>



代表取締役社長

保志 忠郊に聞く

1年半以上にわたるコロナ禍において
考えたこと・重視したこと

1年半以上にわたってコロナ禍が続いておりますが、私これまで考えたことは大きく2点です。まずは「この災害はある程度長期化する可能性もあるけれども、必ずいつか収束し、カラオケの需要も戻ってくる」そして「今はできる限り体制を維持しつつ、かつ出血を抑えながら回復のときに備える」ということです。

この点については各従業員がそれぞれの担当部門において具体策を考え実践した結果、固定費の削減やパーキング・デリバリー・家庭用カラオケ等、新たな収入源の開拓にもつながっていると思います。

そのほか具体的にやったこととしては、2020年5月という早い段階で300億円の調達を行い、財務面で万全を期したほか、営業ができない期間においても雇用調整助成金を活用してアルバイトを含めた休業手当を支給し、雇用の維持に努めました。

その上でコロナ後を見据えた施策として、カラオケDAMの魅力向上のため、ライブ映像コンテンツ強化の一環である「ライブユー！」をリリースしました。ビッグエコー店舗においてはより安心して楽しく歌う環境を整備することを進めています。50%以上のルームに最上位機種である「LIVE DAM Ai (ライブダムアイ)」を導入したほか、全室のマイクを最新のハーモニーピンク/ホワイトに入れ替え、事態が収束した後にカラオケを存分に楽しんでいたような下準備を行ってきました。

10月からは緊急事態宣言が解除され、日常の回復に向けた明るい光も見えてきました。

当社としても、これからは安全対策にはもちろん充分な注意を払いながらも、カラオケの魅力を生かして社会に発信していきたいと考えています。

日常が戻る過程で
第一興商グループが目指していくもの

コロナ禍についてはまだまだ先行き不透明な部分もありますが、回復局面において重視しているのは、何と言ってもカラオケ需要の回復です。これまでの間、「早くカラオケに行きたい」という声を非常に数多く耳にし、カラオケが楽しめる日を待望している方々がたくさんいらっしゃるということを改めて強く感じました。



私たちはカラオケDAMのメーカーとして、引き続きコンテンツを充実してカラオケの楽しさ・臨場感を向上させていくことで、機器操作をより分かりやすく・使いやすいものにしていくことで、コロナ前で約4,700万人と言われるカラオケ参加人口のすそ野をさらに広げていくことを目指します。同時にカラオケボックスの事業者として、カラオケ設備などのハードと衛生管理やサービス品質のソフトという両面を高めていくことで、カラオケの魅力と価値向上を目指していきます。これまで以上に皆様にご満足いただけるサービスを提供できるよう努めてまいりますのでご期待ください。

また、現在、パーキング事業を新たな事業の柱に育成すべく推進しています。企業の持続的成長と企業価値向上には従業員のやりがい、モチベーションが必須であると考えており、こうした新規ビジネスに挑戦することは従業員が新たな能力を発揮するなど、組織の活性化にも寄与すると考えています。今後も将来の成長につながるチャレンジを継続してまいります。

カラオケは世代を問わず楽しめる身近なレジャーとして定着しており、コロナ禍の収束に伴って需要は必ず回復するものと考えています。当社はより多くの人にカラオケを楽しんでいただくため、「カラオケの楽しさ」と「安心、快適で臨場感溢れる歌う場」を追求していきます。

また、カラオケは口腔機能の改善やストレス軽減等、健康面においても有意な効果があることが実証されています。現在、高齢者の健康維持、増進につながるコンテンツ提供に力を入れています。今後は社会全体に対し、カラオケを通じて「心の健康」に貢献することで、社会から必要とされる企業を目指していきたいと考えています。



心の健康を、
カラオケで。

DAIICHI KOSHOH
BIGECHO

LIVE DAM Ai

LIVE DAM Aiから新コンテンツ「ライブビュー！」が登場

LIVE DAM Aiでは、カラオケルームの大画面・大音量で長時間のライブ映像が楽しめる新コンテンツ「ライブビュー！」をお楽しみいただけます。コロナ禍によって日常生活が大きく変化するなか、イベント等の開催も制限されるなど、いつもと違う日々において、「ライブの興奮を忘れないでほしい」という思いのもと、誕生しました。「ライブビュー！」には、今後も人気アーティストのエネルギッシュなライブ映像が続々と登場します。これからカラオケを通じて皆さまが元気になれるようなサービスを充実させてまいります。

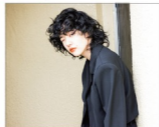
迫力のライブ体験をおあなたに



10月配信 AAA



11月配信 あいみょん



12月配信 RADWIMPS



ビッグエコー 最新の取り組み

🎤 ハーモニーマイク全店全室

Point 1 最新マイクで
最高のハーモニー！

Point 2 かわいいマイクで
気分もGood！

Point 3 清掃・除菌の徹底で安心！



🎧 全ルームの50%以上を最新機種

カラオケの楽しさをより高めることで顧客満足度向上につなげるため、最上位機種であるLIVE DAM Aiへの入替を推進しています。Ai感性で評価する最新技術「精密採点Ai」が楽しめるほか、各部屋ごとに最適な音響設定を行っており、空間が、心が震える圧倒的なサウンドシステムを体験できます。



👤 テレワークプランの実施

働き方改革・生産性向上に向けた取り組みの一環として、2017年4月よりテレワークプランを開始、全国約500店舗で展開しています。カラオケルームならではの個室で、「周囲の目を気にすることなく会話や電話ができる」「机に広げた資料を第三者に見られる心配がない」といったメリットから好評をいただいております。昨年の同時期と比べ、利用者数は約10倍ほど増加しています。



■ デリバリー専門店が続々オープン

当社は、昨年9月に唐揚げ専門店「巻の唐揚げ」をオープンして以来、既存の飲食店舗のキッチンを活用したデリバリー専門点を順次増やしてきました。本格的なお店の味をご自宅で気軽に楽しみたいだけです。今後もお客さまのニーズに合わせたサービスを提供することで、新規顧客の開拓に努めていきます。



韓国飯店「チャンゴン食堂」



ニューヨーク発！
チキンオーバーライス専門店
[WORLD RICE KITCHEN]



台湾フルーツティー&
ソーダ専門店「果茶果茶」

■ おうちカラオケ「カラオケ@DAM」

当社は、お手持ちのパソコン、ゲーム機器、スマホ等で、通信カラオケDAMのハイクオリティな音源と映像のカラオケをお楽しみいただけるサービス「カラオケ@DAM」を提供しています。7月からは子ども向けカラオケ「キッズカラオケ@DAM」のサービスも開始しました。

さらに、カラオケを身近で便利とするための取り組みを強化していきます。

キッズ

カラオケ@DAM



■ パーキング事業「ザ・パーク」

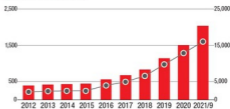
地域に密着したカラオケの営業網を活用し「ザ・パーク」の名称でコインパーキング事業を推進しています。新規出店が好調に進展し、2021年9月末時点では、1,600施設、20,000車室を超える規模に拡大しました。今後も当社グループの新たな柱の一つとして成長を続けていきます。



ザ・パーク

施設数・車室数の推移

■ 車室数(右軸) ● 施設数(左軸)



カラオケを通じた健康推進

DKエルダーシステム

当社は、エンターテインメントとレクリエーションを統合した、高齢者の機能訓練や介護予防に役立つ生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」を提供しています。

「うたと音楽」のチカラを使って、厚生労働省が定める「総合的な生活機能向上」の柱となる3つの機能（運動・口腔・認知）を維持・向上しながら、地域コミュニティの交流と活性化を後押しします。

また、多彩なコンテンツと介護予防教室運営などをサポートする人材の育成を通じて、地域の「心とからだの健康づくり」を応援します。

全国の高齢者向け施設など25,300カ所以上（2021年9月末現在）に導入されており、今後も、誰もが「楽しく生きる」健康的な社会を目指して、効果的なコンテンツを継続的に開発していきます。



生活総合機能改善機器

DK ELDER SYSTEM

DKエルダーシステム専用公式サイト
<http://dk-eldersystem.com>

DK ELDER CHANNEL

DKエルダーシステム公式YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/c/DKELDERCHANNEL>



FINANCIAL HIGHLIGHTS

科目	2020/3		2021/3		2022/3		
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)	
経営成績(百万円)							
売上高	71,018	146,297	42,778	93,316	39,529		
営業利益	9,993	19,058	△1,642	△2,693	△1,945		
営業利益率(%)	14.1	13.0	△3.8	△2.9	△4.9		未定
経常利益	10,697	20,133	△746	△1,194	△1,176		
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	6,655	12,555	△3,881	△1,782	△1,429		
財務状況(百万円)							
総資産	182,975	181,567	207,328	186,795	176,804		—
純資産	136,200	136,205	127,384	106,030	101,733		—
キャッシュ・フロー(百万円)							
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,489	28,155	△1,595	7,755	△1,606		—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,100	△21,430	△5,555	△9,539	△5,049		—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,299	△15,872	31,511	22,174	△3,314		—
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	49,473	47,232	71,593	67,680	57,715		—
1株当たりデータ(円)							
1株当たり四半期(当期)純利益	117.45	221.87	△69.38	△338.54	△26.20		—
1株当たり純資産	2,372.79	2,386.30	2,259.18	1,912.19	1,834.75		—
1株当たり配当金(中間/期末)	56.00	57.00	56.00	57.00	56.00		57.00
主要経営指標(%)							
総資産経常利益率(ROA)	—	10.9	—	△0.6	—		—
自己資本当期純利益率(ROE)	—	9.5	—	△15.7	—		—
自己資本比率	73.5	74.0	60.6	55.8	56.7		—
配当性向	—	50.9	—	—	—		—

売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(単位:百万円)



セグメント別概況

63.7% 業務用カラオケ事業

売上高 25,183 百万円

営業利益 5,792 百万円



- 感染予防関連商品の提案・販売を通じて顧客交流を継続。
- エルダー市場においては高齢者の健康維持に有効なカラオケ活用認知拡大に努める。
- 飲食コンテンツ充実によりカラオケのみからの集客力を強化。ナイト市場向け「CyberDAM+」発売により商品ラインアップを強化。
- 専断台数は減少も、前年同期に比べ減免の規模が縮小したことにより増収・増益。

16.0% カラオケ・飲食店舗事業

売上高 6,331 百万円

営業利益 △6,981 百万円



- カラオケ: 出店2閉店14 期末店舗数509 飲食: 出店0 閉店2 期末店舗数176
- 休業・時短営業等による影響が期中を通じて継続。
- 店舗賃料の减免交渉等、固定費の軽減に努めるとともに、デリバリー業務の拡充など「出客抑え、入り増やす」ための施策を継続。
- 顧客満足度向上につなげるため、最上位機種「LIVE DAM Ai(ライブダムアイ)」への入替を推進したほか、全店全ルームにハーモニーピンポン/ホワイトのマイクを導入。

6.9% 音楽ソフト事業

売上高 2,717 百万円

営業利益 24 百万円



- 新曲の発売延期やイベント中止による商品販売減少などの影響を受けるなか、販売費等のコストコントロールに努める。

13.4% その他の事業

売上高 5,297 百万円

営業利益 374 百万円



- 飲食店・カラオケ店への設置が多いBGM放送はコロナ禍によるマイナス影響が継続。
- 外出自粛に伴う集客もり需要により、家庭用カラオケサービス「カラオケDAM」は好調に推移。
- 「ライブパーク」プラットフォームで展開する「マーケティング事業」は店舗増設の新規開設が好調に推移し、期末時点で1,600店舗、20,000単位数。

演歌・歌謡曲

田中あいみ



2019年日本クラウン演歌・歌謡曲新人歌手オーディションでグランプリを獲得。「ソウルフル・ボイス」のキャッチコピーで2021年11月10日「孤独の歌姫 [シンガー]」でデビュー。ハスキーな歌声に「哀愁とダイナミック」を兼ね備えたパフォーマンスは、ジャンルを超えて幅広い世代の支持を得るポテンシャルを持っています。「目標はスーパーstar」と宣言する21歳の現役大学生シンガーは、歌謡界の新星として注目を集めています。

演歌

吉幾三



いよいよデビュー50周年目に入ります世紀のエンターティナー。音楽番組やバラエティ番組の出演、また楽曲提供やCMソング等、活躍中です。
2022年は、50周年記念ライブ公演として全国各地でのコンサートを展開予定。東京(明治座)・大阪(新歌舞伎座)・名古屋(御膳屋)に加えて福岡・青森でも公演が決定しており、50周年を大きく打ち出した2022年になります。御期待下さい。

会社情報
CORPORATE INFORMATION

(2021年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社第一興商 (英文表記) DAICHIKOSHOU CO., LTD.
設立	1973年4月16日
資本金	12,350百万円
従業員数	当社 1,901名 グループ 3,402名
主な事業内容	家庭用カラオケ事業、カラオケ・飲食店舗事業、音楽ソフト事業、その他の事業
連結子会社	国内販売子会社24社、その他国内子会社12社、その他海外子会社3社

株式状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	54,734,200株
株主数	20,439名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
保志 忠郎	6,246	11.44
保志 治紀	6,119	11.21
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	5,716	10.47
JPMORGAN CHASE BANK 380055	2,935	5.38
(株)ホシ・クリエート	2,449	4.49

※ 持株比率は自己株式142,506株を控除して計算しております。

役員

代表取締役社長	保志 忠郎	取締役(社外)	増田 千佳
取締役	保志 治紀	監査役(社外候補)	梅津 広
取締役	大塚 賢治	監査役(賛助)	小林 成樹
取締役	飯島 毅	監査役(社外)	有近 真澄
取締役(社外)	古田 敦也	監査役(賛助)	灰野 浩良

所有者別株式分布



株主優待のお知らせ

2021年9月30日現在の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様に保有株式数に応じて優待券を贈呈致します。

所有株式数	優待内容		年2回発行	
	優待券 ^{※1}	優待券 ^{※1}	優待券 ^{※1}	CD交換 ^{※2}
100株以上 1,000株未満	500円券×10枚			1枚
1,000株以上	500円券×25枚			2枚

※1 当社グループが発行するカラオケシステムソフト(ソフト)の優待券(以下「優待券」)を贈呈いたします。優待券は、お持ちの株主名簿に記載された株主名簿に基づき、お手持の株主名簿に記載の住所に、お手持の株主名簿に記載の住所に送付いたします。

贈呈時期 2021年12月2日より送付開始

有効期間 2022年1月1日～2022年6月30日

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
剰余金の配当決議権行使日	期末自己資金については3月31日 中間配当金については9月30日
発行済株式数	100株

公告方法	電子公告 ただし、優待その他やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ銀行株式会社 三菱UFJ銀行株式会社 証券代行部 東京都中央区日本橋1-1 電話：0120-232-711 (電話料無料) 郵送先： 〒137-8081 東京都豊島区私蔵第29号 三菱UFJ銀行株式会社 証券代行部
関係先 (電話連絡先)	